

明石市人口ビジョン及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略 素案への市民意見募集結果について

明石市人口ビジョン及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について、下記のとおり、市民意見募集を行いました。その結果については、以下のとおりです。

1. 意見募集の概要

(1)募集内容

明石市人口ビジョン及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

(2)募集期間

平成 27 年 10 月 1 日から平成 27 年 10 月 30 日（30 日間）

(3)応募方法

郵送、FAX、電子メール、持参による

2. 意見募集の結果

下記のとおり、合計 16 名の方から 73 件のご意見をいただきました。

提出方法	持参	郵送	FAX	メール	合計
人 数	3 名	なし	4 名	9 名	16 名

3. 意見の概要及び市の考え方について

いただいたご意見の概要及びご意見に対する市の考え方は別紙のとおりです。
なお、趣旨が重複するものは集約し、意見の概要を記載しています。

明石市人口ビジョン及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略
素案に対する市民意見

1. 明石市人口ビジョン(素案)について

No.	意見等の概要	市の考え方
1	明石市内の地域別人口の推移が必要ではないか。(2件)	総合戦略におきましては、人口ビジョンを指標として、住みたいまち、住み続けたいまちの実現に向けた、子ども、高齢者、障害者などのソフト施策及び交通ネットワーク整備などハード施策を展開することとしております。ソフト施策につきましては、市民全体を対象とすることはもとより、ハード施策につきましても、市内各地域の均衡ある発展を基本的な考えとして推進してまいりますので、人口ビジョンは、明石市全体を一体として捉え、策定しております。
2	外国人など日本国籍を有しない移住者の比率や国籍はどのように考えているのか。	人口ビジョン及び総合戦略におきましては、明石に住む方々は国籍で区別することなく、市民として一体で捉えております。なお、総合戦略では、外国人も含めた転入者の増加に力を入れてまいります。外国人に特化した移住促進などの施策については盛り込む予定はございません。

2. 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

(1) 子育て・教育施策について

No.	意見等の概要	市の考え方
3	少子化に歯止めをかけるには、子供に対する医療費や教育の充実が一番である。教育の面で金銭的な支援をもっと充実させるべきではないか。 大学入学にかかる費用、また授業料を無利子で貸与する制度など、金銭的な支援をもっと充実させることにより、都市部へ流れる就学人口の減少につながるのではないか。	本市では、「福祉・医療」「教育・子育て」「市民サービスの更なる向上」に力を注いでおり、「教育・子育て」の分野では、今後も、こども医療費の中学3年生までの無料化を堅持するとともに、新たな奨学金制度についても、実施に向けた検討を進めるなど、更に施策の充実を図り、若い世代の定住促進につなげてまいりたいと考えております。
4	少子化対策として若い世代の結婚・出産・子育て環境の充実は大切である。	本市の総合戦略においては、これまでのこどもを核としたまちづくりを継続するとともに、国・県の総合戦略を踏まえ、結婚、出産、子育て、教育への切れ目ない支援を行い、安心して子育てができる環境整備に努め、出生率の向上、定住促進につなげてまいりたいと考えております。
5	小学校の授業参観などの行事において、乳児や幼児を一時的に預かるサービスを検討して欲しい。	本市では、明石市第5次長期総合計画で掲げる「子どもを核としたまちづくり」を行っているところであり、今後、市民協働や民間活用も一層進め、よりきめ細かな子育て施策の実施を目指して更なる取組を進めるなかで、ご提案の趣旨も踏まえて検討を行ってまいりたいと考えております。
6	明石商業高校の定員の半数を普通科に改める。また、夜間教室、土曜日授業の実施など、大学進学実績を伸ばすための取組を行ってはどうか。	明石商業高校は、唯一の市立高等学校であり、明石らしい独自の取組も含め、子どもたちの未来に役立つよう、ニーズをふまえ、より適切な学校づくりを進めてまいりたいと考えております。ご提案につきましても将来的な取組の一つとして、今後の学校運営の参考とさせていただきます。

(2) 高齢者施策について

No.	意見等の概要	市の考え方
7	人口維持による取組を行っても、高齢者人口は増加するため、介護サービスへの対応が重点策になると考える。	高齢化の進展に伴い、介護を必要とする「要介護高齢者」の数がさらに増加することが想定されます。市では、必要な人に適切なサービスが行き渡るよう、支援環境の充実を図ると共に、介護予防の健康づくりや啓発等にも努めてまいりたいと考えております。
8	市民向けに介護の方法を伝える講座などを開催してはどうか。	

No.	意見等の概要	市の考え方
9	人口減少を防ぐには、高齢者の存在も必須であり、明るく元気な高齢者の存在はまちを和ませる。 乳幼児の保育や子育て相談など、高齢者が自らの経験を生かして活躍できる場をつくってはどうか。（2件）	少子高齢化が進む中、ご意見の通り高齢者はまちを和ますとともに、地域をつくり、活力を創出する担い手でもありと考えております。 本市では、シニア活動応援の仕組みづくりを行い、高齢者が住み慣れた地域で、それぞれの経験を生かして地域で活躍していただけるよう、取組を進めたいと考えております。今後、ご意見を踏まえ、乳幼児の保育や子育て相談など、活躍の場や機会を広げることについても検討してまいりたいと考えております。

(3)防災・防犯対策について

No.	意見等の概要	市の考え方
10	東南海地震の津波発生により、市役所が水没し、機能不全になる事態も考えられるため、庁舎の移転などを含めた対策を進める必要があるのではないかと。	本市ではこれまで市民の安全、安心を守る取組の一つとして、地域防災の充実を推進してきており、ハザードマップの作成、地域での出前講座や防災訓練の実施、広報あかし及び市ホームページなどを活用した市民への意識啓発などを続けてきております。 市庁舎の建替えにつきましても、耐震性や老朽化問題への対応など、総合的な検討に着手しているところです。
11	集中豪雨により、明石駅前国道2号において道路冠水などの浸水被害が発生しているため、雨水排水施設等の整備を行ってほしい。	本市では平成21年3月に策定した「明石市総合浸水対策計画」に基づき、過去の浸水実績箇所を中心に、順次浸水対策を進めているところであり、ご指摘の明石駅前付近につきましては、現在、雨水管の整備に着手したところであり、現在施工中の明石駅前南地区再開発事業の進捗に合わせた施工を予定しております。
12	安全対策のため、防犯カメラの台数を増やすなど、警察の巡回を増やしてはどうか。	ご意見を踏まえ、日常の安全・安心の確保のため、防犯カメラの設置や関係機関との連携を深める取組など、さまざまなリスクに備え、ソフト・ハードの両面から市民の暮らしを守る環境を整備し、安全・安心な暮らしを実現する施策の実施を検討しております。

(4) 都市基盤整備について

No.	意見等の概要	市の考え方
13	幹線道路の整備計画について、未整備の幹線道路は着手する予定があるのか。	未整備の幹線道路の整備につきましては、人口減少や景気の低迷による自動車交通の減少、財政状況などの社会経済状況の変化を背景に、必要性を検証のうえ、継続的に見直しを行っていく予定であり、今後も、選択と集中により整備の優先順位付けを行ったうえで、整備に取り組んでまいりたいと考えております。
14	街路樹が少ないと感じるため、植樹をしてはどうか。	本市では平成11年に策定した「明石市緑の基本計画」に基づき、緑の保全、緑化の推進などを進めており、街路樹など道路沿いの緑化につきましても、周辺の都市環境の変化等を考慮しながら検討してまいりたいと考えております。
15	たこバスについて、地域によって本数が少ないところがあるため、利用しやすいよう改善してほしい。	たこバスについては、利用者の実態調査等を行うなど、市民ニーズの把握に努めながら、利便性向上に努めており、総合戦略においても主な施策の一つとして掲げ、多くの方により利用しやすくなるよう取組を進めてまいります。
16	山陽電車の駅には、エレベーターが未設置の駅があるため、バリアフリー化をしてほしい。	駅へのエレベーター設置などにつきましては、以前より関係機関に対してバリアフリー化整備を働きかけてきたところであり、今後も実現に向けた取組を継続的に行ってまいります。
17	市役所や公共施設のトイレは、和式トイレが多いため、高齢者、子ども、障害者のことを考えて、洋式トイレの設置を進めてほしい。	従来から市役所及び公共施設のトイレを洋式トイレに改修する取組みは順次進めており、総合戦略においても「公共空間のバリアフリー化」を施策の一つとして掲げております。今後もご意見を踏まえ、引き続き、誰もが利用しやすい環境作りに努めてまいります。
18	今後、農家の高齢化の影響により、田んぼの売却等が進み、住宅建設が進むと思われる。安易に田んぼを住宅に変えるのではなく、行政と不動産会社が協力してまちづくりを考えるなど、農協等と連携し太陽光パネルの設置等、売却以外の活用方法を検討すべきではないか。	遊休農地の活用については、本市の土地利用や、自然環境、住環境を含め、総合的な観点から検討してまいりたいと考えており、ご提案いただいている取組内容につきましても、今後の施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
19	遊休農地を活用した障害者対応の農園をつくってはどうか。	

No.	意見等の概要	市の考え方
20	「空き家等対策の推進」とあるが、「空き家等」という言葉には、空き家以外に何が含まれており、具体的にどのような対策を考えているのか。	「空き家等」には、家屋、附属物、敷地が含まれ、総合戦略の素案においては、空き家の安全対策、利活用などにより総合的な住環境の整備を図る施策として位置付けたものです。ご意見を踏まえ、表現を変更し「空き家対策等による良好な住環境づくり」とさせていただきます。総合戦略においては、空き家対策として、危険な空き家の除却等に取り組むこととしておりますが、ご提案の趣旨も踏まえ、今後の施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
21	人口減少とともに空き家問題は深刻化すると思うので、早急な対策が必要である。(2件)	
22	空き家を活用し、高齢者、障害者、子育て世代の居場所づくりを検討してはどうか。	
23	大久保以西や沿岸部において、人口減少が進むことが予測される。賑いづくりのため各種イベントを開催するなど、環境特区及び教育特区のような特別地域に指定する等の対応が必要である。	人口減少社会への対応を図る中、市域の均衡ある発展を進めるうえで、ご提言につきましては、今後の施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
24	明石の中心であるJR明石駅と新幹線の停車駅である西明石駅を統合してはどうか。	ご意見につきましては、新幹線のルート変更など非常に大きな課題があることから実施は困難かと考えられます。中心市街地の活性化のみならず、西明石地区等、市内全域の均衡ある発展に取り組んでまいりたいと考えております。
25	市の人口ふやすため、また、現在の規模を維持していくため、JR大久保駅と魚住駅の間に新駅をつくり、住宅を建設することを検討してみてもはどうか。	ご提案につきましては、用地の市街化区域への編入など都市計画における法制度上の課題も含め、将来的な課題として考えてまいります。
26	神戸市営地下鉄の西神中央駅からJR大久保駅までの延伸を検討して欲しい。	都市交通は、市民生活や経済社会の発展に大きな役割を果たしており、本市の地方創生にとっても、交通の利便性の向上は大きな要因の一つです。一方で、近隣市との関係や巨額の投資も必要となることなどから、長期的な課題として検討とすべきと考えております。

(5) 明石の魅力の活用について

No.	意見等の概要	市の考え方
27	大気汚染が少ない環境は魅力の一つであり、神戸・大阪などの都市部との差別化を図るべきと考える。	本市の自然環境を守り、住みやすさ、暮らしやすさを広くPRすることにつきましては、これからより一層充実させてまいりたいと考えており、今後の施策の検討・実施の参考とさせていただきます。

No.	意見等の概要	市の考え方
28	瀬戸内海をはじめとした恵まれた自然環境があるため、環境保全の取組はもちろん、中学校給食にもつながるよう地産地消の取組を進めてほしい。	ご意見のとおり、本市の魅力の一つは恵まれた自然環境です。今後も自然環境の保全はもちろん、中学校給食の食材提供の体制づくりにも地元の食材を取り入れるなど、取組を進めてまいります。
29	ノリ・タコ・鯛・玉子焼きなど、明石を特徴づける名産の活用を検討してはどうか。	全国的に有名な明石の海産物など、明石製品のブランド化、明石の製品を使った加工品の開発、国内外への販売促進や、B-1グランプリなどによる知名度や関心の向上などを図り、人口減少の克服、地域活力の向上による地方創生の取組効果を高めてまいりたいと考えております。
30	安全な食、美味しい食を誇れるようにするため、無農薬や減農薬の野菜の販売所や道の駅などの設置を検討してはどうか。	明石の自然環境を生かし、特色ある農業の振興を図るとともに、新鮮で安全な農産物の供給を行うことについては、地方創生につながる施策の一つとして今後、検討してまいりたいと考えております。
31	魚の棚に、もっと気軽に入れるような施設、設備を整備していくことが大事ではないか。	魚の棚商店街は、昨年から観光客数が増加傾向にあり、今後も多くの方に訪れていただけるよう、観光客誘致につながる実効性の高い情報発信や、商店街と連携した取組を行うなど、地域の活力向上につながるよう取組を進めてまいりたいと考えております。
32	明石公園や天文科学館など、明石の魅力を発信すると同時に、6月10日の時の記念日を祝日にする活動をして、日本の標準時を伝える歴史のあるまちとして宣伝してはどうか。	明石にある多くの魅力について、市内外の人々に幅広く知っていただくため、様々な方法でPRを行っており、今後、時の記念日を祝日にする活動にも取組み、日本の標準時を伝える歴史のあるまちについても、積極的に情報発信してまいりたいと考えております。 総合戦略においても、天文科学館を起点とした「子午線のまち」の多様な事業展開を行うなど、取組を進めることとしています。
33	明石城をもっと多くの人に知ってもらい、楽しんでもらうため、大型バスの駐車場の確保、本丸へのエレベーター設置など、明石城周辺の環境を整備してはどうか。 また、本丸の近くに明石城内を眺めながら食事ができるレストランを建設するなど、本丸に築城当時にあった城主館を再建してみてもどうか。	明石公園、明石城は、国の史跡で、兵庫県が所有、管理しておりますが、県内外から多くの人々が訪れ、明石市民にとっても貴重な場所となっております。明石の「たからもの」の一つでもありますので、今後の一層の利活用につきましては、県とも十分な連携を図り、調整しながら進めてまいりたいと考えております。

No.	意見等の概要	市の考え方
34	明石城築城 400 年を迎えるにあたって、菅原道真ゆかりの梅の木を休天神社に植樹したり、境内に「明石の駅家」を再現するなどの取組を行ってはどうか。	総合戦略の素案では、主な施策として「明石城築城 400 年、市制 100 周年イベントなどによる交流人口の拡大」を主な施策として位置付けており、ご提案につきましても、今後の施策の参考とさせていただきます。
35	2019 年に明石市制 100 年、明石城築城 400 年を迎えるが、新しい明石市史の刊行は予定しているのか。	新たな市史の刊行も視野に入れた取組として、史料の調査研究を重ねているところです。
36	近隣市から明石市へ続く 70 km もの自転車道路があるため、これを上手く活用してレンタサイクルを実施してはどうか。	ご提案いただいた内容につきましては、近隣市と連携した広域的な取組として、今後検討してまいりたいと考えております。
37	川崎重工業のバイクは有名であるため、有名スポットにバイクで行ける交通整備をしてはどうか。	本市にあるバイクで有名な川崎重工業と連携した取組として、ご提案いただいた内容につきまして、今後検討してまいりたいと考えております。
38	安全・安心、地域コミュニティ、通学・通勤の交通の便が良いなどの例を挙げ、子育てしやすい環境について市のホームページだけでなく、学校でも PR して、子どものうちから明石の良さを知ることが有効ではないか。	明石に住みたい、住み続けたいと思う若い層が増えるよう、学校等での PR について、ご意見を踏まえ、今後のシティセールス施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
39	明石海峡大橋などの名所、明石焼きなどの食文化は、多くの人々に認知されているが、それ以外になると、明石市内にいる市民などでもあまり知らないものがあったりする。	明石にある多くの魅力について、市民はもちろん、市外の人にも幅広く知っていただくため、多くの世代に伝わるよう、様々な方法で PR を行い、積極的な情報発信に努めてまいります。
40	東京オリンピック開催を契機として、外国人観光客、外国人移住者を呼び込む工夫をしてはどうか。	現在、年々日本を訪れる外国人観光客が増えている現状をふまえ、地域の賑わいの創出と交流の促進に向け、今後、外国人観光客向けに明石の良さを広く PR するための取組を進めていくこととしております。 総合戦略においては、明石の食を生かし、「明石産品の国外への販路拡大」などを掲げており、明石の魅力を市外、県外だけでなく国外にも広める取組など、今後の観光振興施策等の充実につきましても検討してまいりたいと考えております。

(6)人口増加に向けての効果的な方策について

No.	意見等の概要	市の考え方
41	生産年齢人口の減少に伴い、GDPの現状維持も難しい現状において、今後、経済成長が続くとは考えにくい。 明石市は、出生数を増やす取組を進めることに加え、転入者を増やし転出者を減らしてより社会動態を改善させることが不可欠であると思う。	全国的に人口減少、地域経済や活力の低下が懸念される中、本市では子どもを核とした取組などにより、出生率を高める取組や、転入者増につながる「住みたい、住み続けたいと思える『選ばれるまち』明石」に向けた取組を進めてまいります。
42	転入された方に、転入の動機や明石の魅力、改善して欲しいところなどアンケートを実施し、この結果を新しい人の流れを作る施策に活かしてはどうか。	総合戦略の策定に先立ち、昨年度、転入者・転出者へのアンケート調査を、また今夏には転入者アンケートを実施し、転入の動機や移住理由の把握・分析をしてきたところです。このアンケート結果等、多くの方々のご意見も参考にしながら、今後の施策検討を進めているところであり、ご意見でいただきました観光客対象のアンケートなど、各種のご意見も踏まえ、取組を進めてまいりたいと考えております。
43	明石市への観光客や移住者へのアンケートを実施し、明石市を選んだ理由を分析してはどうか。	
44	2013年から2年連続で人口が増加している理由として、社会動態の改善によるものと考えられるが、転入の動機やきっかけはどのようになっているのか。	平成26年度に実施した転入者・転出者へのアンケート調査によりますと、転入の主な動機やきっかけは「就職・転職・退職のため」が一番多く、続いて「転勤のため」「結婚のため」が挙げられています。 近年の社会動態の増加理由につきましては、子育て世代の転入が多いことから、平成24年度から実施している中学生までの医療費無料化など、市が重点的に進める「子どもを核としたまちづくり」なども大きな要因の一つであると考えております。
45	人口減少を防ぐには、20代・30代のファミリー層の定住が必須であり、この層が住みたいと思うまちづくりが必要である。	本市は、所得制限を設けない中学生3年生までの医療費無料化など、子ども施策を積極的に実施しており、その効果も含め、平成25年に4年ぶりに人口増に転じ、特に20～30歳代のファミリー層が多く転入しています。 今後も若い世代の快適な子育て環境づくりを更に進め、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを進めてまいります。
46	20代、30代のファミリー層が住宅を購入する場合、一番関心の高い分野が子育て環境にあり、中学生までの医療費無料化はよい政策であると思う。	

No.	意見等の概要	市の考え方
47	都市部に比べて土地の価格が安いいため、一戸建てを持ちたいファミリー層に、明石への移住を勧め、子育てが終わった世代には、2地域居住の場として明石を勧めてはどうか。	昨年度行った転出入者アンケートの結果によりますと、20代・30代の転入のきっかけとして、「住宅の規模や価格」を挙げた回答が多くありました。 総合戦略の素案では、転入者への家賃補助や3世代同居への住宅取得費用等の助成など、転入者及び定住者の増加を図る取組を記載しており、ご提案のPR等につきましても、今後の施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
48	ファミリー層の定住のためには、子育て環境の充実が必要であると思うが、その中でも教育環境は重要である。市が教育に対して真面目に取り組んでいることをアピールする必要があるのではないか。	本市では、「福祉・医療」「教育・子育て」「市民サービスの更なる向上」に力を注いでおり、医療費の中学生3年生までの無料化をはじめ、学校における30人学級の実施、エアコン設置、タブレット端末の導入など、とりわけこども施策を重点施策として実施してきたところです。今後も更なるファミリー層の定住促進に向け、教育環境のより一層の充実を進め、そのPRにも努めてまいります。
49	人口減少を最小限に抑制するためには、都市部にはない魅力を維持・発展させることが必要であり、そのための努力が必要ではないか。	人口減少社会を迎える中、自然、海岸をはじめ、他都市にはない明石らしさを十分にいかし、明石の良さをさらに高め、より多くの方に「住みたい、住み続けたい」と思ってもらえる「選ばれるまち」となるよう、地方創生の取組を進めてまいります。
50	神戸、大阪などへの通勤する人を対象に、ベッドタウンとしての環境整備、広報に力を入れ、多くの人の関心を引くことが重要である。	本市の強みである交通利便性の高さ、住みやすく暮らしやすいまちの魅力やさまざまな取組などを、より多くの人に伝え、関心を持っていただけるよう、シティセールスについても、現在、特に力を入れ取組を進めているところであり、ご提案につきましても、今後の取組の参考とさせていただきます。

(7)市民との協働について

No.	意見等の概要	市の考え方
51	地域への新しいひとの流れをつくるアイデアとビジネスを生むためのプラットフォームの創設により、産官学、金融、労働、マスコミと市民がつながる「場」と新たな価値を生む「仕組み」を作ってはどうか。	総合戦略においては、官民連携の取組や、産学官のネットワークを活用した取組を施策として掲げており、取組を進展させる中で、明石のまちづくりを担う人材の育成、まちづくり組織の形成、成熟等がなされていくことを目指しております。
52	まちづくりは時間をかけ、努力してする「人づくり」である。まちづくり人材育成の施策として、市内の空き家や学校の空き教室を活用した明石塾を開設してはどうか。	ご意見につきましては、今後のまちづくり、施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
53	明石ゆかりの著名人や学識経験者、公募市民などから新しい視点による意見を取り入れ、よりよいまちを作ってはどうか。	総合戦略の策定にあたっては、市民をはじめ産業界、大学、労働団体などの代表等で構成する第5次長期総合計画推進会議で議論いただくほか、今回のパブリックコメント、関係官公庁、金融機関、マスコミから意見をいただくなど、多方面からの意見を踏まえ、取組を進めてまいります。
54	市民と行政が協働して市の課題に取組み、目標を設定すれば、その達成が現実のものになるのではないか。	パブリックコメントで広くご意見、ご提案いただいただくほか、公募市民の参画する会議でご議論いただくなど、「人口減少の克服と地域活力の向上」に取り組む総合戦略を、市民とともに策定し、地方創生の着実な推進図ってまいりたいと考えております。
55	地方創生を成功させるには、まず、市民が明石を好きになることが重要であり、そのため、明石の魅力に市民が気づき、実感できることが必要である。	明石にある多くの魅力について、市内外の多くの方々に広く知っていただき、明石に関心と愛着を持って「住みたい・住み続けたい」と実感していただけるよう、様々な方法で情報発信に努めることをはじめ、地方創生に積極的に取り組んでまいります。
56	オープンスクールや体育祭・文化祭など、学校行事の地域への開放など、地元の高校との一層の連携を行ってはどうか。	ご意見を踏まえて、今後のまちづくり施策の検討・実施の参考とさせていただきます。

(8) 他都市との連携について

No.	意見等の概要	市の考え方
57	素案における戦略が他と大差ない戦略となっているのではないか。他都市の戦略、海外の成功例を研究・検討してみてもどうか。	明石の地域資源など、他都市にはない明石の良さをいかした明石らしい総合戦略の策定を行う中で、他都市の事例等も調査・検討し、明石にも相応しい要素は積極的に導入を検討・実施するなど、素案内容をより優れた戦略にできるよう努めてまいります。
58	明石市のことだけを考えるのではなく、周辺地域との連携と競争をうまく調整するプランを考えるべきである。	国、県や、近隣自治体とも連携し、東京への人口一極集中の抑制など、広域的な共通課題に対し、人口減少の克服、地域圏全体の活力の向上につなげていく必要があると認識しております。今後も、近隣自治体等との連携を大切にしつつ、「住みたい・住み続けたいと思われる『選ばれるまち』明石」に向け、明石らしい取組を総合戦略としてまとめてまいりたいと考えております。
59	瀬戸内の都市が一体となり、各市町の若者が諸外国との人的交流ができる機関を作ってはどうか。	国内の都市間連携、また国際交流につきましては、本市におけるこれまでの交流の経緯も踏まえ、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

(9) 成果指標等について

No.	意見等の概要	市の考え方
60	「何年までに待機児童ゼロ」といった、すぐにも効果が期待できる「目玉の施策、活動」が必要ではないか。	ご意見を参考に、総合戦略の基本目標と基本的な方向に掲げる4つの柱ごとに、重点的に取り組む項目を記載することとしております。
61	「成果指標」「重要成果指標（KPI）」が示されているが、これら指標に関する意味や活動評価がどのように役立つかについての説明が必要ではないか。	総合戦略におきましては、成果（アウトカム）を重視した目標を明確に設定し、それに基づき適切な施策を提示するとともに、施策の進捗状況について、重要業績指標（KPI）で検証し、必要な改善を行う仕組みを確立することとしております。こうした趣旨をよくご理解いただくよう、周知に努めてまいります。
62	施策の提案にあたっては、成果指標の2019年度の目標値が記載されているほうが、わかりやすいのではないか。	総合戦略の素案の段階では2019年度の数値目標は提示してはおりませんでした。今後、最終案の策定に向け、内容を精査していく中で、目標値について検討し、公表する予定です。

No.	意見等の概要	市の考え方
63	スクールソーシャルワーカー、インターンシップ等、一般市民では理解しにくい外来語のような言葉に注釈が必要である。	ご意見を踏まえ、一般的に注釈を追記したほうが分かりやすいと思われる部分には、語句説明を追記することとします。 例) ファブ施設 デジタル機会を使ったものづくり施設 インキュベーション施設 起業家育成や新ビジネスの支援施設
64	「住みたい・住み続けたい」というフレーズが最も肝心だと思うが、周辺地域との差や違いが分かる、具体的なイメージにつながるキャッチフレーズを考えて欲しい。	明石には既に「子午線のまち、時のまち」をはじめ、明石鯛・タコ・ノリなど「海のまち、海峡のまち」、築城400年を迎える明石城、源氏物語ゆかりの地として「歴史のまち」など、多くの「たからもの」があり、受け手によりさまざまな魅力が感じられる多様性に富んだまちでもあります。今後も、明石の多くの良さのイメージにつながる「まち・ひと・しごと」の創生に取り組んでまいりたいと考えております。なお、総合戦略の基となる本市第5次長期総合計画では、「ひと まちゆたかに育つ未来安心都市・明石」を掲げております。

(10)その他の事業提案等

No.	意見等の概要	市の考え方
65	地域性について、一部地域では閉鎖的な部分があると感じるため、転入者でも地域の催しに参加しやすい方法や環境づくりが必要ではないか。	明石市は、全国に先駆けて「コミュニティ都市」を宣言し、コミュニティづくりに力を注ぎました。総合戦略においても、小学校区単位の協働のまちづくりを進めていくことを掲げています。 ご意見につきましては、今後、より住み良いまちづくりに向けた地域コミュニティ施策の検討・実施の参考とさせていただきます。
66	安心して暮らす、安心して仕事をするなど、「安心して」という表現が多用されているが、具体的にどのような施策を行っていくのか。	本市ではこれまで、市政の重点方針に「安全・安心」を掲げるなど、安全な環境で安心して暮らせることが「住みたい・住み続けたい」まちに不可欠な事項として、さまざまな施策を展開してまいりました。 総合戦略においても、引き続き、出産・子育てへの切れ目のない支援を行うことにより安心して子育てができる環境を整備するとともに、高齢者、障害者への支援等も充実し、若者だけでなく、それぞれの世代において必要とされる施策展開を行うことで、市民の暮らしの「安全・安心」につながる取組を進めてまいります。

No.	意見等の概要	市の考え方
67	明石の海の栄養塩不足により漁獲量が減っている現状を打開するため、植樹による取組をしてはどうか。	本市ではこれまで、海の栄養塩不足に対し、二枚貝の放流、沿岸域の栄養塩環境適正化のための下水処理場の栄養塩管理運転などの対策を行ってきたところです。ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
68	市民まつりでの花火再開を検討してはどうか。	市民まつりの開催および花火の実施につきましては、これまでの経緯を踏まえ、関係者をはじめ、市民の意見を踏まえながら、今後、慎重に検討を重ねてまいりたいと考えております。
69	明石商業高校に、地元として継続的な高校野球の応援体制をつくってはどうか。	来春の選抜高等学校野球大会への出場可能性を視野に、応援体制はもとより、明石商業高校、ひいては明石のPRについても取組み、ご意見につきましても、今後の検討の参考とさせていただきます。
70	東部給食センター予定地の産業廃棄物の問題について、納得のいく安全対策を行ってほしい。	東部給食センター予定地につきましては、土壤調査を行い、環境分野の学識者による専門的な分析も踏まえ、安全性について客観的な評価をいただくなど、子どもたちが安心して給食を口にできる環境であることをしっかり確認したうえで施設整備を行うこととしております。
71	2020年に人口29万人を維持するとあるが、公共施設等の適正配置における施設の統廃合との整合性はどのように考えるのか。	市の人口は短期的には増加傾向にあり、5年後の人口は明石市第5次長期総合計画に掲げる概ね29万人を見込んでおりますが、中長期的には次第に減少に転じていくと考えております。このため、将来的の傾向、財政状況の見通し等を踏まえ、今後も適切な公共サービスの提供が行えるよう十分考慮しながら、公共施設の適正配置の検討を進めているところです。